

3 次世代層へのエネルギー・環境教育の展開

「九電みらいの学校」*の一環として、エネルギー・環境への関心を育む活動を、九州各地で展開しています。

*:「わくわく、かがやく」をスローガンに、エネルギー・環境教育をはじめ、文化・芸術・スポーツの分野において、様々な活動を行う次世代層支援プロジェクト。

詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) > 九電みらいの学校

(1) エコ・マザー活動

子どもたちへの環境教育支援と、ご家庭における環境教育の担い手である保護者の皆さまへの環境情報提供を目的として、「エコ・マザー活動」を展開しています。

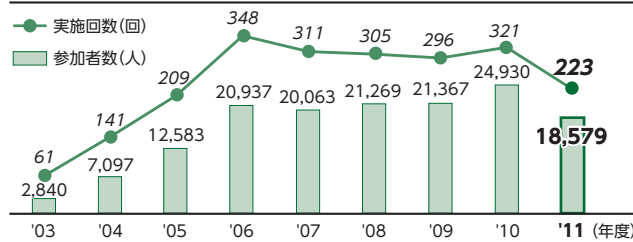
この活動は、九州各地で、地域のお母さま方(計34名)が「エコ・マザー」として保育園などを訪問し、環境問題への「気づき」となる環境紙芝居の読み聞かせなどを行うことを通じ、小さなお子さまに環境に配慮することの大切さを伝える活動です。

2003年度から開始したこの活動は、2011年度までに2,215回実施し、およそ15万名のお子さまや保護者の皆さまにご参加いただきました。



かすみ保育園(鹿児島県鹿児島市)

エコ・マザー活動実績



詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) > エコ・マザー活動

● 活動ツール

省エネルギーや環境問題について、2つのお話をもとにお子さまたちにペープサート(紙人形劇)や紙芝居を実演するとともに、保護者の皆さまにはその内容と、ご家庭で取り組むことのできる省エネ活動などが記載された冊子を配布しています。



「もったいないはちきゅうをまもるココロンパ!」
(省エネルギー)

【ストーリー】

主人公「たくちゃん」一家がテレビをつけっぱなしにして出かけたことで熱で真っ赤になり、他の家電製品たちも大騒ぎ。この出来事を通じて、一家が省エネに目覚める物語。

「もりじいとなかまたち」

(環境問題)

【ストーリー】

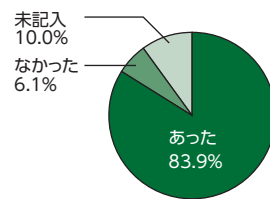
幼い兄妹のふたりが、「森の大木」や「雲」、「清流」など「自然の仲間たち」から、地球温暖化や河川の汚染などの環境問題で困っていることを聞かされ、「環境を守るために自分たちにもできること」を考え、行動へのきっかけとする物語。



● ご参加いただいた幼稚園・保育園の先生の声

エコ・マザー活動にご参加いただいた幼稚園等の先生方からは、「子どもたちが“もったいない”と言ってスイッチを切るようになった」等のお声をいただいています。

エコ・マザー活動実施後の子どもの変化(2011年度)



子どもたちからの感謝状

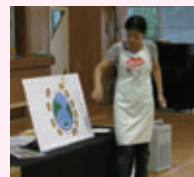
私の環境アクション

子どもたちの心に響く活動をめざして

ご縁があってエコ・マザー活動をさせていただくようになって、早いもので10年が過ぎました。今では私の生活の一部になっているようにも思います。家族もこの活動を応援してくれています。

幼稚園・保育園の子どもたちがじっくり話を聞いてくれて、「もったいない」や「シーオーツ」などの言葉を覚えていてくれると、とても嬉しく励みになります。省エネ、節電が大きく取り上げられる今、この活動が子どもたちの心に少しずつでも響いて根付いていってほしいと願いながらエコ・マザー活動を続けています。

(文:橋本さん)



エコ・マザー活動の様子



長崎エコ・マザー
はしもと ようこ
橋本 陽右子 さん(写真左)
あらかき さとみ
荒木 里美 さん(写真右)